

コラム

2007/09 (3)

こんにちは。園長の佐藤です。今回は、「子どもと寝る前に、どんなことしていますか？」というテーマで綴りたいと思います。

長女が2才の時は、第1子ということで「あいうえおの本」的なものをよく読み聞かせしていました。1ページにひとつだけ絵があって、「あ」などと書いてあります。大人にとってはストーリーも何もないものですが、「**子どもは気に入ったものを何度でも繰り返したがる**」というのを実感したのが、この時期でした。

今、読み聞かせはとても大切なことと、色々なお店や団体が勧めています。幼稚園もそうです。これを改めて「子どもにとってどんなものか」と考えると、3つの「よいところ」があると思います。

1. お母さんやお父さんと、ぴったり体を寄せ合って同じものを見ることで、安心感や愛情を感じる。2. 現実世界と区切られた、別の世界を味わう。3. 絵の変化と共に語られる言葉を聞き、色々なもの・ことに「名前」のあることを知る。

もっとも、この3点は私が最近になって実感してきたことであります。小学生になった長女は、出てくる大抵の字を難なく読めるようになった今でも読み聞かせが大好きです。「読めるんだから、自分の力で読みなさい」では得られないものがあるのです。親の愛を感じ、一緒に味わい、新しい言葉を知る。一人で読み進めた方が（親にとって都合の）いい点も沢山あるのですが、今でも、母親が妹に読み聞かせしているといつの間にか隣に座っていたり、彼女自身が下の子たちに読み聞かせている姿は、「**知的好奇心**」だけでは片付けられないものがあることを感じさせます。

長男の時には、リトミックのCDを手に入れたところだったので、毎晩20分位でしょうか、全員で「じゃれついて」遊んでいました。寝る直前だと興奮してしまって寝付けられないのでは？などとも思ったのですが、我が家の場合は殆ど杞憂でした。順番も決まりきって毎日繰り返すだけなのですが、毎日同じ所で笑いながら相当長い期間、遊びました。リトミックを「**見立て遊び**」と思えば、①親と共に、②指示によって作られた世界で、③言葉を実体化・イメージ化してゆく、という事が行われていたのだと思います。

ところで、日本において絵本というものが普及してきたのは、明治時代からと言われます。なぜ、絵本が普及してきたのか。それを、「子ども達の生活体験が減ってきたから」と説明している方がありました。言葉からのイメージ生成能力は、生活経験の豊富さによる所が大きいと思います。「走って走って、息が切れた」という言葉は、実際ハアハアするほど走った経験、またはそのような状態の人を見なければ、ありありと感ずることはできないでしょう。実体験が減ってきたから、絵でそれを補った、というわけです。それから既に100年・3世代が経ち、子どもの生活体験は減る一方であることは明らかでしょう。「**言葉が分かる**」とは**イメージと記号（言葉）が結びつくこと**。対応するイメージが少なければ、それだけ習得する言葉が少ないというのは、肯けることです。もっとも、世界的に見て日本での絵本の普及は早く、国民的な教育熱心さの表れであるとも言われています。

では、絵本の登場以前は？素話だったことは容易に想像できます。じつは私自身の記憶では、夜寝る前に本を読んで貰ったことはありませんでした。小さい電球だけの部屋で、静かに昔話を語る母の声を、今でも何となく覚えています。同じ話を何回でも、時に途切れ途切れになると子ども達が補ったりして、聞きながら眠りにつきました。昼間にも絵本を読んで貰っていたのですが、印象に残っているのが「声だけ」の素話ばかりなのは、我ながら興味深いと思います。

私自身の経験を含めて、根底に流れているのは「親子が共に楽しみ、絆が作られる」ということではないかと思います。『幼稚園では遅すぎる』を著したソニーの井深大さんが、晩年にあげていたのは「絆づくり」の大切さでした。様々な媒体や教材を使って、結局目指すところは心の繋がりで、**「あなたに関わっていくよ」**という親のメッセージであるという話は、深く共感するものであります。

巷には、様々な「教材」「おもちゃ」といった便利な物があふれています。それを使うことを否定はしません。でも、「それを使うということが、何をもたらすのか？」つまり、**親子の絆になるのか、それを阻害するのか、というのは常に留意しなくてはならない**と思います。そのことによって、自然と「使い方・つきあい方」も見えてくるのではないのでしょうか。

2才になった次女は、最初の「図鑑的絵本」を抜かして物語（おはなし）から読み始めてしまいました。すると最近になって「これ何？」と絵を指さすようになりました。ああ、単語が独立したものとして分かっていないのだなあ、ちんぷんかんぷんだっただろうなあ。一つづつ、名前を教えています。